

REC-Li200M

REC-Li250M

S7G-M200 系

S7G-M250 系

アタッチメント

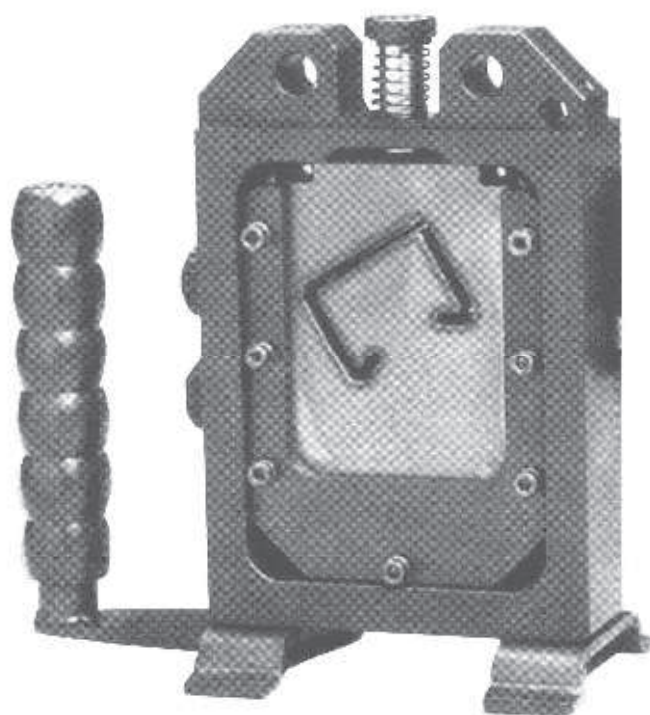
※250 系使用時はアダプタ (200AD-DCM) が必要になります

カセットカッタ交換式

レースウェイカッタ

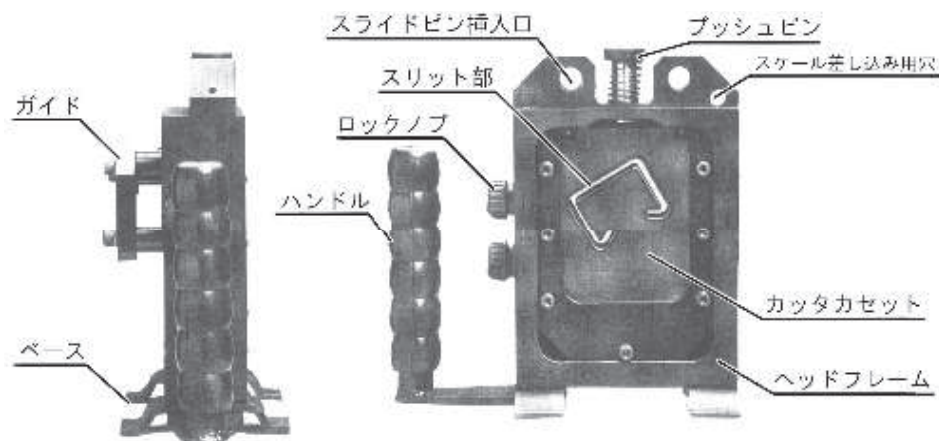
150AT-DCM

取 扱 説 明 書

**ERobo**

マクセルイズミ株式会社

■各部の名称



■仕様

切断能力	レースウェイ SS (鉄) SUS (ステンレス)	カッタカセット名	適用切断物
		D 1 (SS) ※注 1	D 1, DP 1 ※注 2, 1 6 D 1 ※注 2
		S-D 1 (SUS)	S-D 1, DP 1, 1 6 D 1
		D 2 (SS)	D 2, DP 2 ※注 2
		D 1 5 (SS)	D 1 5
		S-D 1 5 (SUS)	S-D 1 5
		P-1 (SS)	P-1
		P-2 (SS)	P-2
	満充電における切断回数	約 270 回 [S7G-M200R (BP-2120 使用)、D 1 切断時] 約 260 回 [S7G-M250R (BP-2120 使用)、D 1 切断時] 【充電条件等により変化しますので参考値としてください。】	

※注 1 カッタカセット D 1 は標準品です。

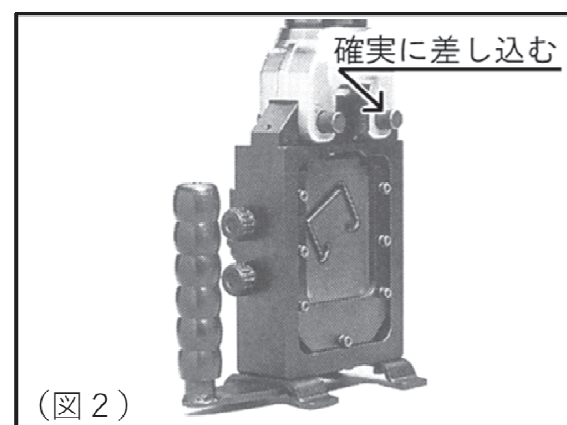
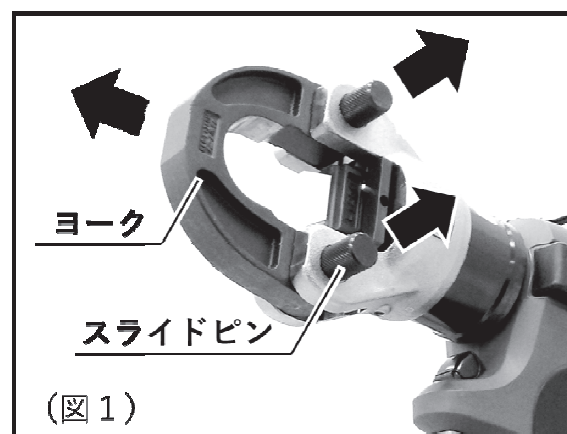
※注 2 被切断物が変形する場合があります。

■注意事項

1. アタッチメントの仕様に記載されている能力以上の作業は行わないようにしてください。
破損の恐れがあります。
2. カッタカセットの交換および切断の際は、使用手順に従って正確な作業を行ってください。
3. 作業中は危険ですのでカッタ摺動部には触れないでください。
4. レースウェイはカッタカセットに対して垂直に挿入し、切断してください。

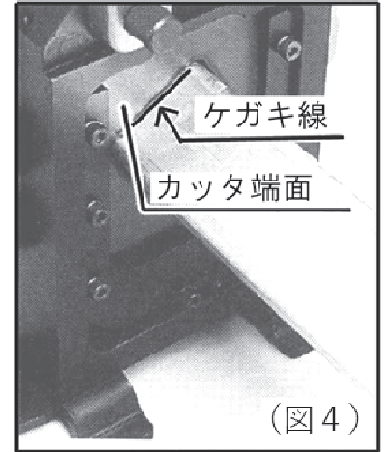
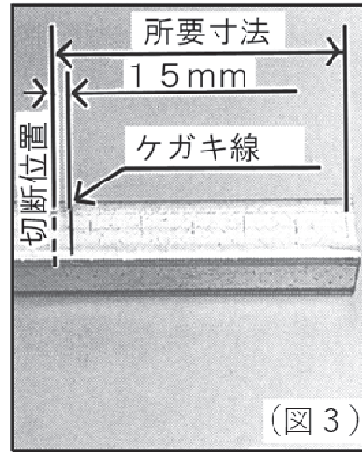
■使用方法

1. スライドピンを止るまで引き抜き、ヨークを外します。(図 1)
2. リリーススイッチを押し、ピストンを下死点まで下げます。
3. アタッチメントをシリンダヘッドに入れ、スライドピンを根元まで確実に差し込みます。(図 2)



4. スリット部へ材料を挿入します。

予め寸法出した材料を切断する場合、切断箇所はカッタカセットのスライドカッタ端面より15mm奥で切断されますので、所要寸法より15mm減じた位置にケガキ線を入れスライドカッタ端面に合わせてください(図3, 4)



5. 工具本体の作動スイッチを操作し切断します。

6. 切断が終了しましたら、リリーススイッチを押しピストンを下死点まで戻してください。

7. 切断後は、カッタ部などに付着したゴミや切り屑が次の切断時にかみ込まないように、きれいに除去してください。

■カッタカセットの交換

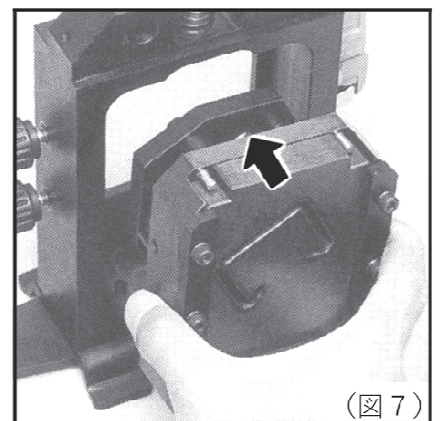
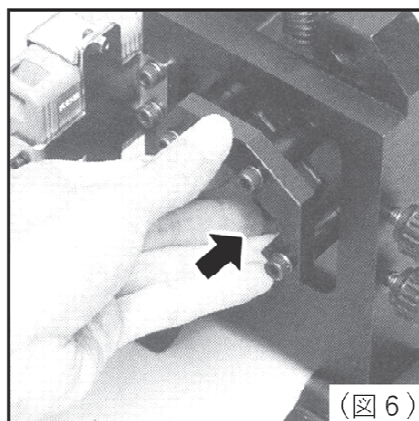
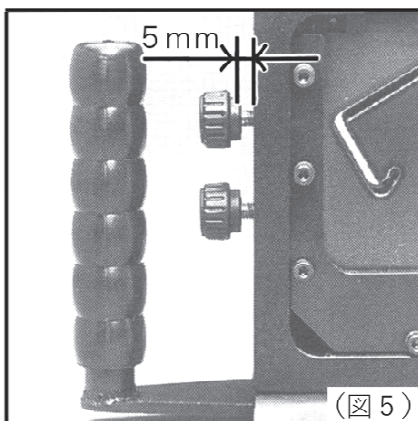
1. カッタカセットの取り外し

ロックノブ(2箇所)を約5mm程緩め(図5)、(図6)の矢印の方向へ押し出し外してください。

2. カッタカセットの取り付け

カッタカセットおよびヘッドフレーム挿入面のゴミを十分に取り除いた後、カッタカセットをヘッドフレームの底に密着するまで挿入し、ロックノブを確実に手で締め付けてください。(図7)

カッタカセットの挿入およびロックノブの締め付けが不十分だと破損する恐れがありますのでご注意ください。





保証書

この商品は厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。
お客様の正常なご使用状態で、万一故障した場合は、本保証書記載の保証規定により無料修理いたします。
※修理はお買い上げの販売店に必ず本保証書をご提示の上ご依頼ください。
※本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

型 名	150AT-DCM		
お買上げ 年 月 日	年 月 日	保証期間	6ヶ月間
★ お客さま	ご住所	参照用	
	会社名		
	お名前		
★ 販売店	住所		
	店名	TEL	

★印の欄は必ずご記入下さい。

保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態において万一故障した場合には無料で修理いたします。
- つぎのような場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - 使用上の誤りあるいは不当な改造および修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の落下および輸送上の故障または、損傷。
 - 過負荷および誤圧などによる故障または損傷。
 - 消耗品の損傷。
 - 火災・塩害・風水害・異常電圧・その他天災地変による故障、または損傷。
 - 保証書のご提示のない場合。
 - 本保証書の所定事項の末記入あるいは字句を書き換えられた場合
 - 工場ライン作業等の連続長時間使用による故障および損傷。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This Warranty is valid only Japan)

マクセルイズミ株式会社

本	社	〒399-8721	長野県松本市大字笹賀 3 0 3 9 番地	☎0263(58)5757(代)	FAX0263(86)1002
東	京	〒151-8527	東京都渋谷区元代々木町 3 0 - 1 3	☎03(6891)2111(代)	FAX03(6891)1700
大	阪	〒542-0081	大阪府大阪市中央区南船場 2-1-10 (CARP 南船場第1ビル 9階)	☎06(7663)0667(代)	FAX06(7663)0668
名	屋	〒465-0025	愛知県名古屋市名東区上社 3 丁目 203 リバーページ本郷1階	☎052(685)5388(代)	FAX052(386)2163
福	岡	〒812-0008	福岡県福岡市博多区東光 2 丁目 2 2 - 3 0	☎092(483)5700(代)	FAX092(483)5704
仙	台	〒984-0032	宮城県仙台市若林区荒井一丁目 2 1 番地の 8	☎022(287)1761(代)	FAX022(287)1768